問題 次の (\mathbf{P}) \sim (\mathbf{I}) の 2 階定数係数線形微分方程式につい τ , 1 \sim 4 の間に答えなさい.

($\mathbf{\mathcal{P}}$) $y'' - 4y' + 8y = e^{-2x}$

(1) $y'' - 2y' - 3y = e^{3x}$

(ウ) $y'' + 3y' + 2y = 2x^2 + x$

(**I**) $y'' + 2y' + y = \sin 2x$

1 定数係数線形微分方程式 f(D)y = F(x) に対し、定数係 数線形**同次**微分方程式 f(D)y=0 を, 元の微分方程式の 同次形とよぶことにする.

 (\mathbf{P}) \sim (エ) の中から3つ選び,その同次形の一般解を求 めなさい.

(選択記号)

(ア) 補助方程式 $t^2 - 4t + 8 = 0$ の解は, $t = 2 \pm 2i$. よって, 一般解は, $y = e^{2x}(c_1 \cos 2x + c_2 \sin 2x)$.

(イ) 補助方程式は $t^2 - 2t - 3 = (t - 3)(t + 1) = 0$ であ り、異なる 2 つの実数解 t = -1.3 を持つので、一般解は、 $y = c_1 e^{-x} + c_2 e^{3x}.$

(選択記号)

(ウ) 補助方程式は $t^2 + 3t + 2 = (t+1)(t+2) = 0$ であ り、異なる 2 つの実数解 t = -2, -1 を持つので、一般解は、 $y = c_1 e^{-2x} + c_2 e^{-x}.$

(エ) 補助方程式 $t^2 + 2t + 1 = (t+1)^2 = 0$ は、重解 t = -1を持つので、一般解は、 $y = e^{-x}(c_1x + c_2)$.

(選択記号)

 $2 \mid$ (\mathbf{P}) \sim (**エ**) の中から 3 つ選び, その特殊解を逆演算子法, または未定係数法を用いてそれぞれ1つ求めなさい.

(選択記号)

(ア)

$$\frac{1}{D^2 - 4D + 8}e^{-2x} = \frac{1}{(-2)^2 - 4 \times (-2) + 8}e^{-2x}$$
$$= \frac{1}{4 + 8 + 8}e^{-2x} = \frac{1}{20}e^{-2x}.$$

(1)

$$\frac{1}{D^2 - 2D - 3}e^{3x} = \frac{1}{(D - 3)(D + 1)}e^{3x} = \frac{1}{D - 3} \cdot \frac{1}{D + 1}e^{3x}$$
$$= \frac{1}{D - 3} \cdot \frac{1}{3 + 1}e^{3x} = \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{D - 3}e^{3x}$$
$$= \frac{1}{4}e^{3x} \int e^{-3x}e^{3x} dx = \frac{1}{4}e^{3x} \int dx$$
$$= \frac{1}{4}xe^{3x}.$$

(選択記号)

(ウ) 特殊解は, $y = ax^2 + bx + c$ と書ける. y' = 2ax + b,

$$2a + 3(2ax + b) + 2(ax^{2} + bx + c) = 2x^{2} + x$$

が任意のxに対して成り立つので、

$$2a = 2$$
, $6a + 2b = 1$, $2a + 3b + 2c = 0$

を得る. 連立方程式の解は $a=1,b=-\frac{5}{2},c=\frac{11}{4}$ なので、特 殊解は $y = x^2 - \frac{5}{2}x + \frac{11}{4}$.

(選択記号)

(エ) 特殊解は、 $y = A\cos 2x + B\sin 2x$ と書ける. $y' = -2A\sin 2x + 2B\cos 2x$, $y'' = -4A\cos 2x - 4B\sin 2x$ より、

$$-4A\cos 2x - 4B\sin 2x + 2(-2A\sin 2x + 2B\cos 2x) + A\cos 2x + B\sin 2x = \sin 2x$$

が任意のxに対して成り立つので、

$$-4A + 4B + A = 0$$
, $-4B - 4A + B = 1$

を得る. 連立方程式 -3A+4B=0, -4A-3B=1 の解は, $A=-\frac{4}{25}, B=-\frac{3}{25}$ なので, 特殊解は $y=-\frac{1}{25}(4\cos 2x+3\sin 2x)$.

3 (ア)~(エ) の中から 2 つ選び, その一般解を求めなさい.

(選択記号)

1 2 の結果より、以下のようになる;

$$(\mathcal{F}) \ y = e^{2x}(c_1 \cos 2x + c_2 \sin 2x) + \frac{1}{20}e^{-2x}$$

(イ)
$$y = c_1 e^{-x} + c_2 e^{3x} + \frac{1}{4} x e^{3x}$$

(ウ)
$$y = c_1 e^{-2x} + c_2 e^{-x} + x^2 - \frac{5}{2}x + \frac{11}{4}$$

(**I**)
$$y = e^{-x}(c_1x + c_2) - \frac{1}{25}(4\cos 2x + 3\sin 2x)$$

(選択記号)

4 1階微分方程式においては、初期条件 (x,y) = (a,b) が与えられると、それを満たす特殊解が定まった。 同様に、2 階微分方程式においては、 $\lceil x = a \text{ のとき } y = b_0$ 、および $y' = b_1$ 」が与えられると、特殊解が定まる.

(ア)~(エ) の中から1つ選び、初期条件

$$x=0$$
 のとき, $y=1$ かつ $y'=1$

を満たす特殊解を求めなさい(ただし、 $\boxed{3}$ で選択したものを除く).

(選択記号)

(ア) 一般解 $y=e^{2x}(c_1\cos 2x+c_2\sin 2x)+\frac{1}{20}e^{-2x}$ に対し、 x=0 のとき、 $y=c_1+\frac{1}{20}=1$. $y'=2e^{2x}(c_1\cos 2x+c_2\sin 2x)+e^{2x}(-2c_1\sin 2x+2c_2\cos 2x)-\frac{1}{10}e^{-2x}$ より、x=0 のとき、 $y'=2c_1+2c_2-\frac{1}{10}=1$. よって、 $c_1=\frac{19}{20}$ 、 $c_2=-\frac{2}{5}$. したがって、求める特殊解は

$$y = \frac{1}{20}e^{2x} \left(19\cos 2x - 8\sin 2x\right) + \frac{1}{20}e^{-2x}.$$

(イ) 一般解 $y=c_1e^{-x}+c_2e^{3x}+\frac{1}{4}xe^{3x}$ に対し、x=0 のとき、 $y=c_1+c_2=1$. $y'=-c_1e^{-x}+3c_2e^{3x}+\frac{1}{4}e^{3x}+\frac{3}{4}xe^{3x}$ より、x=0 のとき、 $y'=-c_1+3c_2+\frac{1}{4}=1$. 以上により、 $c_1=\frac{9}{16},c_2=\frac{7}{16}$ を得る.よって求める特殊解は

$$y = \frac{1}{16} \left(9e^{-x} + 7e^{3x} \right) + \frac{1}{4} xe^{3x}.$$

(ウ) 一般解 $y=c_1e^{-2x}+c_2e^{-x}+x^2-\frac{5}{2}x+\frac{11}{4}$ に対し、x=0 のとき、 $y=c_1+c_2+\frac{11}{4}=1$. $y'=-2c_1e^{-2x}-c_2e^{-x}+2x-\frac{5}{2}$ より、x=0 のとき、 $y'=-2c_1-c_2-\frac{5}{2}=1$. 以上により、 $c_1=-\frac{7}{4},c_2=0$ を得る. よって求める特殊解は

$$y = -\frac{7}{4}e^{-2x} + x^2 - \frac{5}{2}x + \frac{11}{4}.$$

(エ) 一般解 $y=e^{-x}(c_1x+c_2)-\frac{1}{25}(4\cos 2x+3\sin 2x)$ より、x=0 のとき、 $y=c_2-\frac{4}{25}=1$. $y'=-e^{-x}(c_1x+c_2)+c_1e^{-x}-\frac{1}{25}(-8\sin 2x+6\cos 2x)$ より、x=0 のとき、 $y'=-c_2+c_1-\frac{6}{25}=1$. 以上により、 $c_1=\frac{12}{5},c_2=\frac{29}{25}$ を得る。よって求める特殊解は

$$y = \frac{1}{25}e^{-x}(60x + 29) - \frac{1}{25}(4\cos 2x + 3\sin 2x).$$

参考

• α を定数とする. 関数 F(x) に対し,

$$\frac{1}{D-\alpha}F(x) = e^{\alpha x} \int e^{-\alpha x} F(x) \, dx$$

実数 θ に対し,

$$e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta$$

配点

- 4 は 8 点, それ以外は各 4 点.
- 解が正しくなくても、解を導く手順を概ね理解している と判断できる場合は 1~3 点加点する場合がある.
- 4 は部分点なし.